

平成22年度 鶴の里懇話会



1/31 六郷地区

鶴の里懇話会 開催日程・参加人数

水元地区 / 1月25日 廻堰文化センター 参加者 32人	六郷地区 / 1月31日 境・胡桃館ふれあいセンター 参加者 39人	梅沢地区 / 2月2日 横菴ふれあいセンター 参加者 34人	鶴田地区 / 2月7日 国際交流会館 参加者 39人	上三地区 / 2月8日 あやめふれあいセンター 参加者 30人
-------------------------------------	--	--------------------------------------	----------------------------------	---------------------------------------

町民の皆さんの声を直接伺い町政に反映させようと、町では今年も『鶴の里懇話会』を開催しました。1月25日から2月8日にかけて町内5地区で開かれ、出席した延べ174人の方からは率直な意見やさまざまな質問が出されました。その懇談の模様を一部紹介します。

◆自由懇談から

米価下落の原因は？

水元地区

Q 米価が下がったのは、戸別所得補償があったからか、それとも米が余ったからか、どっちが本当でしょうか？

A 産業観光課長

非常に難しい話ですが、米余りの状況に消費が落ち込んでいるというのは、やはり影響していると思います。ただ一部流通業者の中には、米の所得補償制度ができたというのが前もって分かっているんで、どうせ安く買っても国から金が出るんですよ、という話があったというのも聞いています。ですからどっちがどうで正解かというのはいわゆる米余りが、米の消費が落ち込んで米余りの状況にあるというのは、間違いのないと思います。所得補償制度が影響しているというのは憶測される場所です。

収納率と納税組合の関係は？

梅沢地区

Q 納税組合の加入率ですが、いろいろな事情で町からの助成金が減

ってあまりメリットがないというわけ、だんだん組織率も下がっているのかのように聞いているんですが、必要なものだと思います。収納率と納税組合の組織率と関係あるのか教えていただきたい。

A 税務会計課長

確かに納税組合の組織というのは収納率には欠かせない非常に大事な組織だと思っております。町全体の納める額の世帯の納税組合の加入率というのが33パーセントくらいです。納税組合における収納率というのが97パーセントあります。ですから納税組合に加入している人はほぼ100パーセントに近い収納率であるといえます。納税組合が無くなると、さらに収納率が下がるわけです。ですから納税組合の組織というのは収納率を上げるために欠かせない大事な組織だと思っております。納税組合の補助金がだんだん少なくなっているのではないかとこのことですが、昭和52年当時は一番多くて72組合ありました。ところがいま現在58組合です。それだけ組合が解散しているという状況です。また、組合自体は存在しているも組合員数が減少してきている組合が多々あります。その原因は何かというと調査

したわけではありませんが、平成18年に町で行政改革ということで、納税組合の補助金を納付額の3パーセントから2・5パーセントに減額したわけです。率を落としたうえに1納税組合に対して2万円、そして1枚の納付書に対して1000円、会議費として1組合に2万円、これが一つの基準です。それから、納期限内にきっちり納めている組合に対してさっきの基準にかさ上げして補助金を出しています。ですから、納税組合によっては秋の出来高で1回に納める納税組合もありますが、納期限内にきっちり納める組合については、収納率対策補助金というものがかさ上げされているのでおしいところなんです。納税組合によっては、納税組合長のところに納付書が行くと各世帯に配布して自分で納めろというところも中にはあるんです。そうじゃなく、納期限内にきっちり納めるところはもう額も大きい訳なんです。町としては、補助金は多くてもいくら出してもいいです。その



△ 1 / 25 水元地区



△2/2梅沢地区

▽2/7鶴田地区



納期内にきつちりと納めてかさ上げ分のうまいところを利用しない組合は補助金がガクッと落ちるわけです。納税組合が無くなってしまつと、収納率にも非常に影響が出るものと思います。

救急車の他管内の出勤について

Q 水元地区

妙堂崎の野原（森田）で、はしごから落ちた場合のことです。一つの例として以前板柳で、青女子の方へ橋を越えた事故現場で板柳の消防に電話をしたら、そっちは弘前から弘前の消防に電話をして弘前から出勤要請を受ければ行くよ、という説明だったそうです。私にその話を教えた人がそれを見ていたそうなんです。時間がかかってあの人が亡くなったんじゃないかと言っていた。私たちにとつても森田の方とそういう話になるわけです。ある時消防の人と話したときには、自分たちは

A 消防署長

鶴田の町を守るためにいるんだから森田の奥まで行って地元へ何かあればどうするんだという話でした。それも一理あるが、いずれにしても消防同士でやりとりして時間がかからないようなマニュアル的なものを何か考えてくれたのかと思つて参考までに聞きたいと思います。

現在の不燃物最終処分場は？

Q 上三地区

不燃物最終処分場の現在の埋め立てはどの程度なのか。あと許容量はどれくらいか。それ以後の計画はあるのか聞きたい。

A 町民生活課長

現在の不燃物処分場の状況ですが、実質的にはあと4年くらいです。残で言いますと21年12月末現在で6418³。22年度町でプラスチック類を一日埋めたものと入ってくるものについては現場で機械を使って処理しています。それを梱包して1つリング箱くらいの大きさに25kgくらいになるんですけれども、それを処理施設の方に回して延命を図っています。今後、一応検討しているのは新しい候補地を探すのが一つです。それから現状の敷地をもう少し伸ばすことができれば、それに越

ゴミの出し方を分かりやすく

Q 上三地区

役場で出している説明書きの書いてある意味が分からない人が多い。近所のゴミをよく目にしますが、缶詰のフタを取らないで、フタは燃えないゴミ、缶は缶で別に出すのに、缶にフタがついたまま出すので、収集してもらえなくて残っている。ですから、そういう説明も分かるように出してもらえたらいいなと思います。

A 町民生活課長

なかなか、ゴミを完璧に出すというのは難しいと思います。私たちでも、こういうもの、こういうもの、細かいものがたくさんあります。そういうものは皆さんと話をしながら、ある程度浸透できるように説明にあがるような形で、今後進めていきたいと思っております。処分場に出す燃えないゴミというのは、本当はピンは全部洗って出してほしいです。袋でも、例えば肉が入った袋をそのまま、燃えるゴミであればいいんですけども、もともとはプラスチック類ということで、これらも処分場に来るんです。そうすればカラスとかが来るわけですし、できるだけそういう袋は洗わなくても燃



△2/8上三地区



▽1/31六郷地区

すばらしい地域ボランティア

意見 上三地区

2月6日（日）に行われたひとり暮らしの声かけ運動は、全町挙げてやったわけですから大変いい企画だと思っております。というのは、うちの方でいろいろな村の助成団体がありますが、その人たちはなかなか村の活動に参加する機会がないというのか、参加するようにさせていないというのがあります。消防団にはたくさん若い人たちが

意見 中野町長

今までは社会福祉協議会が音頭を取って、例えば大工組合などをお願いしてやっていたんですけれども、今年は豪雪なので町と社協と一緒にになって、いろいろな団体に出してもらって、みんなで町のためということで協力してもらいたいという考えから協力してもらったわけです。約700〜800人くらい参加したということで、私も結団式に出たことになっております。よく嬉しかったわけでありまして。よくみんなに集まってくれたもんだなあ、さすが鶴田の町民だなあと感謝をしております。みんなで協力し合うことによつてまちづくりに元気が出てくるわけでありまして、地域に住んでいる人たちもこうして雪片付けしてくれてありがたいなということになるんじゃないかと思っております。ですから今後もそういうことで何かあった場合は協力方よろしくお願い申し上げます。